

# 尾道市立大学 2022（令和4）年度 卒業生の就職状況について

2022年度卒業生の就職率（就職希望者のうち、就職し得たもの）は 94.6%（2021年度88.1%）、内定者数は244名（2021年度251名）となっています。学科別の状況は、次のようになっています。

	卒業者	就職希望者	就職者	就職率
経済情報学科	209	181	175	96.7%(2021年度 94.2%)
日本文学科	50	43	41	95.3%(2021年度 80.8%)
美術学科	54	34	28	82.4%(2021年度 69.8%)
合計	313	258	244	94.6%(2021年度 88.1%)

経済情報学科 96.7%

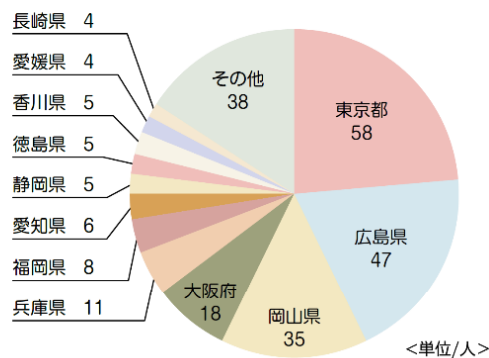
日本文学科 95.3%

美術学科 82.4%

## (1) 地域別動向

就職先を地域別にみると、就職者 244名中 105名（約43.0%）が広島県、岡山県等の中国四国地域へ就職をしています。また東京都と大阪府の合計が約 31.1%、出身者が多い兵庫県・愛知県・福岡県などへの就職者もいます。

これは、地元（中国・四国地域）の発展に貢献できる人材を輩出する、大都市圏でも活躍できる人材を育成する、これらを就職支援の方針として重点的に取り組んできた結果です。また、2022年度は2021年度と比較をすると、地元よりも大都市圏、とりわけ首都圏への就職が増加した年となりました。



## (2) 業種別動向

就職先を業種別にみると、卸・小売業、情報通信業、製造業、金融・保険業で55.7%を占めています。これらの業種は本学学生が志望する人気業種です。

卸・小売業種、製造業以外を学科別にみると、各学科の特色が現れた結果となっています。経済情報学科は、情報通信業、金融業、公務が上位を占めています。日本文学科は、学校教育・学習支援業、その他サービス業が上位を占めています。美術学科は、専門・技術サービス業、サービス業でのウェブデザイナー、グラフィックデザイナーなど自らの専門性を活かした分野への進出が見られます。

